

NPO 法人ザンビアの辺地医療を支援する会

ORMZ ニュース第86号 (H30.9.20)

事務局：宮崎市生日台西 4-7-7 (メール info@ormz.or.jp) 文責：日高良雄



はじめに

9月、台風21号や北海道地震の発生など本当に大規模な災害の多い年では、と不安のつめるこの頃ですが、皆様如何お過ごしでしょうか？

それでも庭や道路端に咲く赤や白の彼岸花を見ては、心が癒やされている今日この頃です。

今回のORMZ ニュースは、ザンビアの辺地医療を支援する会支援チャリティコンサートの様子、現地からの巡回診療等の報告、巡回診療に同行された峠先生からの報告、ザンビア日本大使館からの情報などです。どうぞご覧ください。

支援チャリティコンサート

9月16日(日)、午後4時から、ニューエルシティ宮崎ホテルにて、ザンビアの辺地医療を支援する会支援チャリティゴスペルコンサートが開催されました。

日高の高校の同級生が企画してくれ、ニューヨーク在住のゴスペルシンガーとジャズピアニストとのコラボによる歌と演奏が、約60名の方達に披露されました。

本場のゴスペルに聴き入ると共に、一緒に日本語の歌詞で歌ったり、手拍子をしたりとあっという間の時間でした。

当日販売されたCDの売り上げの半分を寄附してもらえるとのこと、企画してくれた黒木氏に心から感謝申し上げます。



現地活動報告 (ザンビアより芦田様から)

◎9月5日 サンダラ巡回診療

同行者： ムレタさん、チブリカさん、ポストンさん、ラブネスさん、メアリーさん、ニヨニさん、ギルバート (レンタカー)、ダニエル (レンタカー)

CHW： 5人：マチラさん、コンスタンスさん、ハムサレさん、サンダラから2名

患者数： 60人 マラリア検査数60人うち陽性9人

主な症状：腰痛、目の問題、咳等 重篤なケース：無し

*道路状況：トラックの通行により、石がむき出しになっている。サパニからサンダラへの道路を引き続き村人が整備中。

*車両整備：エレファント：エンジンがかからず、トヨタにて車両チェックをしたところ、センサー系に問題はなく、エンジン内部の修理が必要とのこと、7月19日にトヨタへ車両を持ち込み、8月14日よりエンジン内部の修理開始。作業は継続中。

◎9月12日 ルアノ巡回診療

同行者： ムレタさん、チブリカさん、ボストンさん、メアリーさん、ラブネスさん、
ギルバート（レンタカー）

CHW： 3人：マチラさん、マーティンさん、マンボさん

患者数： 80人 マラリア検査数80人うち陽性1人

主な症状：目の問題がかなり多かった

重篤なケース： 男性1名が、喧嘩して太もも骨折疑い。人数の関係で車両に乗せることが出来なかったため、CHWらが協力して13日にチペンビHCへ運ぶことになった。

*蚊帳販売： 無し（残り20個）

*道路状況： トラックの通行により、石がむき出しになっている状況

*車両整備： エレファント： エンジン内部の修理作業は継続中。

巡回診療同行報告（峠先生からの報告）

2018年7-8月の2週間、小児科医として巡回診療に同行させていただきました。

7月25日のルアノへの巡回では、朝6時にドライバーさんと事務所で待ち合わせて、医療道具をいっぱい積み込んだ車で出発し、道中でメンバーをどんどん拾っていきました。Clinical officer（準医師）のムレタさん、助産師さん、薬剤師さん、皆ザンビア人の方です。計5人のメンバーで目的地のルアノに到着したのは11時頃で、そこから車の荷物を下ろしてシンプルな診療所が出来上がり、約70人の外来患者さんの診察が始まりました。

70人の患者のうち、高齢の方はほんの数人ほどで、残りは小児と成人が半々くらいであったように思います。多いと感じた主訴は咳、腰痛、歯痛でした。驚いたのは、発熱の有無や主訴に関わらず、受付後に全員がマラリアの迅速検査を受け、結果をカルテに記載された状態で診察ブースに入ってくることです。その日にマラリアが陽性となった患者は3人ほどでしたが、流行期には全患者200人のうち、かなりの割合をマラリア罹患者が占めると伺いました。

日本の総合病院で勤務している私は、診察道具が聴診器、ペンライト、舌圧子、打鍵器のみで、血液や画像の検査も行えない限られた環境で、患者に診断を下すことにとっても苦労しました。しかし準医師のムレタさんにアドバイスを求めると、視診、聴診、打診、触診を丹念に行って的確な診断に迫られていて、その優れた臨床能力に感銘を受けました。診療が終わったのは16時で、その後片付けの後でチームの皆で遅い昼食を摂りました。



必死に働いた後、青空の下で食べたザンビア料理は格別に美味しかったです。17時にルアノを出発し、事務所に到着して解散した時には22時を回っていました。

翌週の8月1日にサンダラに行った際は、さらに道が険しく6時間ほどのドライブであったので、私は運悪く車に酔ってしまいました。嘔気と戦いながら約60人の患者さんを必死の思いで診療しました。

さらに帰り道にはタイヤがパンクしてしまい、舗装されておらず、もちろん街灯も何もない道で応援待機と修理のためかなりの時間を取られ、事務所に戻った時には日付が変わっていました。改めて巡回診療の過酷さを痛感した1日でありました。

巡回診療がない日は事務所の一室で寝泊まりさせていただいたため、メイドさんやドライバーさんなど、事務所スタッフのザンビア人の方々とほとんどの時間を過ごしました。メイドさんにはとても可愛がっていただき、最終日の食事は彼女と一緒にザンビア料理を作りました。

この度は山元先生がザンビアにご不在の時期にお邪魔させていただきましたが、たくさんの方のサポートのおかげで、大変充実した時間を過ごすことができました。本当にありがとうございました。また現地で私をサポートをくださった全ての皆様に、この場を借りて心より感謝を申し上げます。現地での大変な巡回診療をチームの一員として経験させていただき、山元先生の計り知れない努力とまっすぐな志を感じ、目頭が熱くなることが度々ありました。

この度はこのような貴重な経験をさせていただき本当にありがとうございました。（峠 千晶）

在ザンビア日本大使館情報（ホームページから）

ザンビアの経済概況（2018年7月）

- ・GDPが4.1%成長（Daily Mail, 6日）

国家経済諮問協議会（NEAC：National Economic Advisory Council）は、第2四半期にGDPが4.1%成長したことを受けて、ザンビア経済の軌道は引き続き強じんであると述べた。ワケ（Mr. Webby Wake）NEAC会長は、今回の成長は、農業及び農産物において実施されている開発プログラムに起因すると述べた。他方、同氏は、財政再建及び世界的動向により、経済成長は2019年上半期には落ちることが予測されると発言した。

- ・ザンビアは政治的・経済的安定で54位（Daily Mail, Daily Nation & Times of Zambia, 18日）
- グローバル・イノベーション・インデックスは、2018年の政治的・経済的安定の分野で、ザンビアを126か国中54位にランク付けした。

賛助会費の納入と寄附受領証明書の送付について

- ・平成30事業年度（事業年度は1月から12月）の賛助会費（個人一口5000円、団体一口10000円、一口以上）及びご寄附（金額は問いません）のご協力をお願いします。
- ・当法人は認定NPO法人であり、ご寄附（賛助会費含む）いただいた際には、翌年の確定申告で税制上の優遇措置を受けるための寄附受領証明書（賛助会費も寄附金と同様税控除の対象）をお届けします。
- ・ご不明の点は日高（info@ormz.or.jp）までご連絡ください。

★郵ちょ銀行からの振替 口座記号 01720-9 口座番号 126351
加入者名 NPO法人ザンビアの辺地医療を支援する会

★他の金融機関からの送金 郵ちょ銀行 店名：一七九、預金種目：当座、口座番号：0126351
加入者名 ： NPO法人ザンビアの辺地医療を支援する会
カナ名称（全角）：トクヒ）ザンビアノヘンチイリョウヲシエンズルカイ

*これからもご支援のほどどうぞよろしく申し上げます